資料３

議題３　大規模災害と感染症の複合災害への対応について（豊橋市・春日井市・犬山市提出）

市名	回答	
	（１）避難所を開設する場合の感染症対策	（２）災害時にすでに感染し、自宅待機などしている人への対応
名古屋市	名古屋市では、市民に対して、次のような事前対策を行うよう啓発しております。 ・災害リスクの確認：自宅の災害リスク等の確認 ・避難の検討：住宅避難が可能であるか、親戚や友人の家への避難が可能であるかの検討 ・衛生環境の確保：避難所における衛生対策や非常持出品の衛生用品の追加	調整中
豊橋市	３密とならないように、避難状況に応じて第２指定避難所を開設する。また、６月１３日に感染症対策を考慮した避難所開設訓練を実施し、避難者の受け入れ手順や体調不良者への対応、発熱など症状のある方の専用スペースの検討を行った。	どの方が感染者かという情報共有は現在においてはされていない。 感染者を搬送する飛沫循環抑制車両（ルームセパレーター付き車両）で安全に移送などを行う。
岡崎市	・主に未経験の避難所運営担当に対して、避難スペースの確保や避難所の運営についてなど感染症対策を含めた実践形式の訓練を行った。 ・マスク、体温計などの備蓄を進めた。 ・避難者のフローを作成し、通常（一般）の避難者と感染症関連の避難者がどう避難するか保健所と情報共有している。（（２）に記載）	避難者のうち軽症者、無症状病原体保有者、濃厚接触者等は保健所へ連絡し、親戚や友人宅が不可能であれば保健所が指示する避難場所を伝える。そのうち濃厚接触者は防災課が指定する避難場所へ移動する。
一宮市	空き教室の活用やパーテーション等を用いることで、感染者の専用スペースを確保する。 指定避難所のほか、補助避難所の活用を検討する。	市対策本部及び帰国者・接触者相談センターに相談し、検査、入院等の手続きをする。また、空き教室や補助避難所といった専用スペースやトイレを確保し、他の避難者と隔離する。 上記の内容を記した避難所運営方針を新たに策定中。
瀬戸市	災害時には、危険な場所にいる人は避難し、安全な場所にいる人まで避難する必要はないことを市民に啓発し、避難所での密な状況を極力作らないように呼びかけている。また、安全な親戚・知人宅に避難することも考えていただくよう呼びかける。 避難所において、受け入れ時に体温の検査を行うと共に、感染予防として、間仕切による区分けを行う。	感染者及び濃厚接触者の情報を入手できないため、避難所において、受け入れ時に体温測定を行い、一般避難者と隔離する対策を講じる予定。
半田市	自宅や親戚、知人宅等で安全が確保できる場合には、避難所へ行く必要がないことを繰り返し呼びかけている。 また、避難所における対策として資機材の整備（消毒薬、非接触型体温計、マスク、フェイスシールド、防護服、手袋等）を実施するとともに ・体調不良者の隔離用別室の確保 ・滞在する区画の設定による避難者同士の距離の確保 ・受付時の健康状態等の問診の実施 ・定期的な換気の実施 ・手洗いの徹底等を呼びかけるポスターを掲示　　等 の対策を検討している。	・陽性者・濃厚接触者は避難前に市役所に連絡をするよう、市報やＨＰ等で広報実施 ・濃厚接触者用の避難所については、県（保健所側）で対応してもらえないか要望を行っている。
春日井市	議題提出市	議題提出市
豊川市	風水害時に開設する避難所（25箇所）については、簡易マニュアル、マスク、消毒液、体温計（接触型）、啓発チラシを配備。実際の開設時には、ワンタッチパーティション（ファミリールームW2.1m×D2.1m×H1.4m）×２を配備の予定。また、風水害時には、従来開設予定の25箇所（地区市民館が主）に加え、小学校23校の開設についても検討中。	検討中。
津島市	避難所受付の際に、消毒液を設置し手指消毒の実施・受付で非接触型体温計による検温の実施及びマスクを着けていない方へマスクを配布する。また、健全者と体調不良者が居住するスペースを別け、居住スペースまでの動線を別にし、必要に応じて段ボール間仕切りによる区分けを行う。	保健所の感染者情報を共有する体制ができていないため不明。今後、情報共有がされる体制が整った場合は、避難所の専用スペース等で対応することも検討する。
碧南市	犬山市と同様です。災害時に本当に避難が必要かどうかを、個人個人で改めて確認してもらうよう市民に啓発し、避難所での密な状況を極力作らないように呼び掛けています。	豊橋市と同様です。どの人物が感染者か事前に把握できていれば対応することも可能かもしれないが、現在においてはその共有はされていません。
刈谷市	在宅避難・友人宅等への避難の周知・啓発、避難者の健康チェック（検温含む）、換気の実施、簡易ベッドの使用、体調不良者のための別室の確保等を予定しています。	相談があった場合は、個別に関係機関との調整を図る予定です。
豊田市	・避難場所内：４㎡/人確保　・避難所運営マニュアルの徹底 ・新型コロナ対応のため別冊作成　・避難所受付時におけるトリアージの実施（非接触型体温計等）・間仕切り等の感染症予防用備蓄品　・小・中学校：教室等の利用	豊田市では、感染者及び濃厚接触者専用の避難先を確保し、一般避難者と隔離する対策を講じることを検討中。現在は豊田市のホテル旅館組合と調整中。
安城市	「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料」（第２版）（令和２年６月１０日付け府政防第１２６２号ほか、内閣府をはじめとした連名の通知）を参考に、避難所内の配置を検討していく。そのために必要なスペースを区切る間仕切り段ボール等の確保のため、新たな協定締結を進めている。また、ホテル等の活用を進めるため、宿泊事業者との協定締結に向けた協議の準備を行っている。	感染者及び濃厚接触者の情報は市には共有されないため、避難所の受付時に聞き取りをするなどして、専用スペースへ誘導することを検討中。
西尾市	避難所での感染症対策として、受付を2か所設置し、1か所を発熱者用の受付とする。発熱者等については、避難所内で他の避難者とは別の部屋に入ってもらう。	避難所へ避難された場合は別室にて対応する。

資料３

議題３　大規模災害と感染症の複合災害への対応について（豊橋市・春日井市・犬山市提出）

市名	回答	
	（１）避難所を開設する場合の感染症対策	（２）災害時にすでに感染し、自宅待機などしている人への対応
蒲　郡　市	風水害時の避難所である公民館（一部小中学校や児童館）では１３か所指定されており、各避難所内で最低限「一般（発熱等なし）」と「発熱あり、または感染の疑いあり」で部屋を分ける。 避難スペースでは１人あたり４㎡を基本とする。 避難所で感染の疑いがある避難者は蒲郡市民体育センターに公用車で運送することを検討。 避難所用品にマスク・ゴム手袋・手指用アルコール消毒液・次亜塩素酸消毒液・非接触型体温計・ゾーニング用養生テープ等を新たに追加し、避難所職員に使い方のレクチャーを行っている。 今後はより大規模な災害に備え小中学校等の指定避難所においても対応できるよう備蓄品の購入も含めて計画中。	蒲郡市民体育センターを感染者用の避難先として調整中。
犬　山　市	犬山市提出議題	犬山市提出議題
常　滑　市	通常時より多く避難所を開設し、避難所受付時に体温の測定や簡単な問診を行うこととしている。避難スペースについても1人当たりのスペースを多めに設定し、段ボール板等を利用して避難者同士の社会的距離を保つようにしている。また、発熱等の症状が見られる避難者に対しては可能な限り個室に隔離し、個室が準備できない施設については室内テント内に避難してもらうこととしている。	新型コロナウイルス感染症については、市で該当者は把握していない。知多保健所を通じて該当者に避難する際には予め市に連絡するよう周知している。しかし災害対応にあたる一般職員は専門的な知識は無く、2次感染等の恐れがあるため、知多保健所に対して既に感染が明らかになっている人や濃厚接触者については県で広域避難所を設置することができないか要望をしている。
江　南　市	在宅避難も選択肢にしていただけるようHP等で啓発し、避難所においては健康チェックリストを活用し、避難者の健康状態を把握するようにしています。発熱等の症状がみらえた場合は一般の方とは別の部屋等に移動してもらえるよう準備しています。	一般の方とは別の避難所を用意しているが、収容人数等の問題があり、更なる避難所の増設等を現在検討中であります。
小　牧　市	現在、避難所運営マニュアルに感染症編を追記する方向で検討中	市において感染者を特定する個人情報を有していない（県より提供されていない）ので対応できない。
稲　沢　市	市公式ホームページにおいて、災害時、本当に避難が必要か否かを避難所内で３密を避けるために確認してもらうよう市民に啓発している。また、広報8月号においても周知する予定である。 また、避難所における感染症対策として、避難スペースの区分分け等を行う予定である。	事前に感染者の把握ができていれば対応可能であるが、現時点では感染者の把握ができないと思われるため、災害時にすでに感染し、自宅待機等をしている人へ対応することは困難であると考えられる。
新　城　市	施設内で発熱や体調不良者を部屋で分離を検討中	今後検討
東　海　市	体調不良の人を含め集団生活の困難な要配慮者については、別途、学校の教室を使用する。 避難スペースを仕切る段ボール間仕切りの設置。	事前に保健所からの情報提供が必要だが、現状では対応できない。
大　府　市	災害発生時の避難所のあり方について、防災ガイドブックや出前講座等の場で「避難所へ行くことが避難ではない」ことを啓発している。 避難所における感染予防として、消毒液及び非接触型体温計の備蓄や３密を避けるとともに、発熱など症状のある方は、一次措置として部屋を分けて対応する。	市災害対策本部救護班との連携により、感染症状に応じた受け入れ施設への対応を求める。 感染者や濃厚接触者の対応は基礎自治体のみではなく、広域圏単位及び県内等の大きな地域で、療養環境、避難環境が整った別の施設を臨時避難所として開設してもらうよう県へ要望している。
知　多　市	避難所における新型コロナウイルス感染症への対応やQ&Aを参考に対策を講じる中で、感染症対策を踏まえた避難所開設運営方針を定め、考え方を整理した。	感染者及び濃厚接触者は、県保健所から市の問い合わせ先を紹介する流れであるため、市に問合せがあった際には対応可能である。 感染者及び濃厚接触者の情報は入手できないため、避難所の受付において問診を行うなどの対応を含めた避難所開設運営方針を定めた。
知　立　市	避難する場合は、食料・水以外にマスク、体温計及び手洗い用石鹸などの衛生用品を持参するよう市ＨＰ等で呼びかけている。また、避難所受付で検温を実施し、熱がある方もしくは体調不良の申し出があった方がいる場合、通常の避難スペースとは別の部屋に案内することを検討中。 安全な場所にいる方は、在宅避難、親戚や友人宅への分散避難をすることも呼びかけている。	当市においても、感染者及び濃厚接触者の情報は入手できないため、在宅避難の案内をしたいところだが、避難所へ避難された場合は、一般避難者とは隔離する対応となる。
尾 張 旭 市	「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を策定し、避難所班職員等に周知するとともに、市民に対し、在宅避難等ができるよう家庭での備蓄等の啓発を行う。また、避難所はパーテイションテントやテープ等でゾーニングを行う。	市ではコロナウイルス感染者やその濃厚接触者の情報を入手できないため、本人から申し出がない限りは他の在宅避難者と同じ扱いをせざるを得ない。
高　浜　市	避難者を受け入れる際に、チェックシートを用いて避難者の体調確認を行い、健常者と感染の疑いのある者を同じ空間にいないようにする。 また、避難所も「３密」にならないように避難者同士の距離を充分に開けてパーテーションで区切る。	感染者は避難所に避難できないため、避難する場合は災害対策本部に連絡するように周知している。
岩　倉　市	国や県のマニュアル等を基本としながら、できる限りの「少人数・個別空間」での避難、いわゆる「分散避難」を検討し、短期間での避難であれば、車中泊も選択肢の一つと考えています。	感染症の症状が出ている方や濃厚接触者については、専用の避難所を開設することを想定していますが、それが困難な場合には、避難所の入口を分ける、受付で仕分ける等も検討しています。
豊　明　市	原則として、避難所へ行く必要がないよう、在宅避難や親族・知人宅等への避難を推奨します。避難所では、高機能マスクやゴーグル、消毒液、体温計等の備蓄増強や、通常の避難スペース（体育館）以外に感染の疑いがある方や要配慮者を別室対応するため学校の教室を開放できるよう市教委・各学校と連携しています（別室対応の際の移動ルート（ゾーニング）の指定を含む。）。 また、避難所では離隔距離の確保を徹底し、満員となった場合、他の公共施設を臨時の避難所にできるよう計画しています。	感染者及び濃厚接触者の情報を入手することはできませんが、本人からの申告等により避難が必要な場合は、感染者及び濃厚接触者専用の避難スペースを提供する用意があります。また、避難所での受付時に問診を行い、感染の疑いの有無を定量的に判断し、隔離対応を行います。

資料３

議題３　大規模災害と感染症の複合災害への対応について（豊橋市・春日井市・犬山市提出）

市名	回答	
	（１）避難所を開設する場合の感染症対策	（２）災害時にすでに感染し、自宅待機などしている人への対応
日　進　市	日進市では、新型コロナウイルスなどの感染拡大を防止するため、「避難所における新型コロナウィルス感染症等の対応方針」を策定しました。今後は、本方針に沿った避難所運営に必要な資材の準備や訓練を実施するなどして、災害に備えます。	自宅療養者(感染者)や自宅待機者(濃厚接触者等)が避難してきた場合は、一時的に専用スペースに案内し、至急瀬戸保健所へ連絡し、対応を確認する。
田　原　市	・できるだけ多くの避難所を開設 ・在宅や知人・親せき宅での避難の呼びかけ ・感染症防止資器材（マスク、消毒薬等）をできる範囲内で備蓄、持参の周知	・事前に感染者の把握ができないため、避難所での聞き取り、検温等により、感染が疑いのある人については、保健所・医療機関等へ連絡する ・個別空間への移動、日常動線の区分けにより感染拡大の防止を図る
愛　西　市	自宅の安全確保が可能な場合は、在宅避難へご協力をいただくよう広報している。また、避難所では避難者受付時に、検温や体調に関するチェックシート等への記入を基に、感染疑いのある方のゾーニングを行ったり、間仕切りボード等を活用し対応する。	現時点で対応方法については未定。
清　須　市	避難所用にマスク・手指消毒薬・ハンドソープなどを備蓄し、手洗いや咳エチケット等の基本的な対策を徹底する。受付時をはじめ、定期的に避難者の検温等を実施し、発熱・咳等の症状がある方については専用のスペースを確保する。指定避難所以外の公共施設の避難所としての活用や、避難所以外への避難の検討の啓発なども実施。	感染者等の情報は入手できないが、避難する場合は事前に市に相談するよう、保健所から感染者等に呼びかけを行ってもらっている。また、感染者等が避難所に避難する場合には、受付で確認を行った上で、専用スペースを確保する。
北名古屋市	親戚・知人宅等、避難所以外への避難も検討いただくよう、広報誌に掲載済。避難所開設時にも同様の案内を同報系防災行政無線、メール等により実施予定。 避難所内の３密を避けるため、屋内用テントや養生テープ等による、避難スペース・動線等の区分けを計画している。	感染者の詳細について、保健所との情報共有がされていないため、個別の対応は難しい。
弥　富　市	・避難所を開設した際の市での対応（・自宅での検温申告　・うがい手洗い咳エチケットの徹底　・避難者同士の間隔　・定期的な検温、換気、消毒）など、協力いただけるように広報等で啓発。 ・消毒用アルコール、フェイスシールド、間仕切り（予定）等の感染予防資材の備蓄。	避難所の受付において問診等で把握し、避難所内での部屋、動線を分けるなどでの対応を検討している。
みよし市	避難所で濃厚接触者等を隔離するための専用スペースはあらかじめ決めるため、マニュアル等の見直しを行っています。 広報・HPで避難の仕方の検討および避難時にの衛生用品の持参を呼びかけています。	感染者及び濃厚接触者が事前に把握できないため、避難所に来る前に電話をもらうか受付時に申し出てもらいように広報等で呼びかけています。
あ　ま　市	昨年までは、自主避難者用として３ヶ所避難所を開設していたが、開設する施設を増やし、スペースの確保に努める	感染者及び濃厚接触者専用の避難先を確保し隔離する予定
長久手市	在宅避難や親戚・知人宅の避難を推奨、どうしても避難所に避難する人のため消毒液やマスクの備蓄を進めている。間仕切りやベッドも備蓄を検討中。	避難所の受付において問診を行うなど、感染防止のため、避難所運営マニュアルの修正を進めています。